

JR東海のイノベーション活動とCOI-NEXTとの連携

2023.3.28



Central Japan
Railway Company

JR東海

COI-NEXT
4/27 OPENING
グレースケリー
展

□ 自己紹介

□ JR東海の概要、イノベーション活動

□ COI-NEXTとの連携

本小 輝晃 Honko Teruaki

総合技術本部 技術開発部 イノベーション推進室 副長

■経歴… 1984年3月生 大阪府出身

2009年～ JR東海

<2009～2019年>

- ・ 駅、沿線、工場設備の設計・工事監督・保全
- ・ 予算マネジメント、社員教育、中央新幹線計画

<2020年～>

- ・ イノベーション活動

■趣味… キャンプ、旅行、テニス、程よい飲酒、（英語学習）



JR東海の3つの柱と2つの挑戦

新幹線事業



在来線事業



関連事業



超電導リニアによる 中央新幹線計画



高速鉄道システムの 海外展開



事業内容

- ・ 鉄道事業
- ・ 関連事業



(FY2019) 46万人/日 12,613億円

113万人/日 1,042億円

6,366億円

(FY2020) 17万人/日 4,173億円

84万人/日 588億円

4,950億円

新幹線

東京～新大阪

在来線

名古屋・静岡地区

関連事業ほか

流通（百貨店、物販、EC等）
不動産（駅ビル等）
運輸（バス等）
鉄道車輛等製造 など

「新幹線」「在来線」は旅客運輸収入、「関連事業ほか」は連結子会社営業収益合算

JR東海のイノベーション活動



ミッション

- ▼様々な分野に挑戦しようとする風土の醸成
- ▼長期的に取り組む事業領域の創出



スタートアップ等との協業

<ニーズ>

社内・グループ会社

連携

イノベーション推進室



**マッチング
先導&伴走**

<シーズ>

パートナー契約、活用

ベンチャー育成エコシステム

TECH PLANTER
(リバネス)

ベンチャーキャピタル

PLUG AND PLAY JAPAN

コワーキングスペース

WeWork, ARCH

スタートアップ等

Collaboration



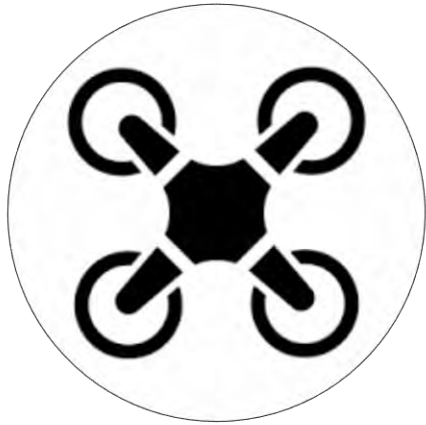
Continued
Relationship



20+

PoC since 2020





Drone



Mobility



Energy



and more...

研究テーマ2-2_地域モビリティシステムのアセットを共有するオープンプラットフォームの構築

研究リーダー；三輪富生（名古屋大学）

地域のスマートモビリティサービスを公共財プラットフォームの考え方を活用して
広く持続的に提供していくための研究をスタート

検討の背景と取組み内容

本取組背景

- ① 人口減少、高齢化により、特に地方公共交通サービスの事業性が縮小トレンドに入らる中で、スマートモビリティ（とくに自動運転車）を前提とした地域交通サービスの将来を提案する必要
- ② 自動運転走行による公共交通実現のためには、負担の大きいリアル財（インフラや車両）を公共財として共有する仕組み及び、リアル財や自動運転車導入を低価格化にするための標準化された仕様が必要

取組み内容

- 上記を踏まえ、スマートモビリティサービス提供のあり方を、小委員会を立ち上げ、全国の有識者とともに以下の項目について議論を行い、一定の方向性を提言する。

JR東海；COI-NEXT参画機関として小委員会にオブザーバー参加

- I スマートローカルモビリティに必要なリアル財を公共財とするための理論と制度の検討
- II 都市部及び地方部において格差の少ない移動を実現するための交通サービスの設計
- III 自動運転サービス車両と運行システムの標準化

公共財プラットフォームと活用方法のイメージ図

研究リーダー；三輪富生（名古屋大学）

